

議員出選 県

復興 実質議論できぬ 政権を担う能力なし

民主

自民

松本龍復興対策担当

相が辞任した5日、県選出の民主党国会議員は「復興が遅れが出る。被災者、国民に申し訳ない」とうなだれ、対する自民党議員は民主党の政権担当能力の欠如をあらためて強調し

た。

民主党県連代表の白石洋一氏(衆院3区)は辞任の引き金となった岩手、宮城両県での松本氏の言動を「誤解を受けやすい表現の仕方、態度だった」と指摘した。

空転状態の国会は6

日によろやく衆院予算委員会が開かれるが、野党側は首相の任命責任を追及する方針で、白石氏は「復興をめぐる実質的な議論に行き着かず、復興が遅れてしまう」と嘆いた。

菅内閣の閣僚辞任は

4人目。自民党県連会長の村上誠一郎氏(衆院2区)は「もともと民主党には政権を担う能力がなかった」とこれまでの見解を重ねて示し、菅直人首相退陣表明後の相次ぐ混乱に「今は首相に従う議員しか閣僚に起用できないからこうした結果になる」と切って捨てた。

(和泉太)